

緊急事態宣言の発出に係る考え

基本的対処方針分科会会長
令和3年4月23日（金）

なぜ緊急事態宣言が必要か

変異株等の影響により
人と人の接触機会を減らす必要が出てきた

【現在の感染状況】

- ① 従来株から変異株への置き換えが急速に進行
- ② 感染発生場所が飲食店→職場、学校、カラオケ喫茶、施設、家庭等多様化し、起こりやすい地域での感染
- ③ 関西を中心に救急外来等、一般医療に深刻な影響
- ④ 東京は感染者増加のスピードが加速。早晚大阪のように医療がひっ迫する懸念あり
- ⑤ 関西や東京から感染が染み出し、全国的にも感染が拡大

なぜ強い対策が必要か

人と人の接触機会減少のための環境作り

- ① 変異株の出現で新しいフェーズ
- ② 変異株の影響で感染力が高まり、比較的若い層でも重症化
- ③ 多くの人の協力でここまで凌いだが、一部の人や事業所の感染対策が必ずしも十分でなかった
- ④ 医療提供体制のキャパシティ強化が、ウイルス拡散のスピードに対応できていない
- ⑤ 皆さんの健康や医療を守るためには、接触の機会減少が必要

そのための環境作りという強い対策が必要

解除の条件等について

5月11日の直前に、宣言の効果や感染状況を評価。
ただし、効果判断のデータが十分でない可能性も。

- ① ステージⅢに入り、ステージⅡへの安定的な下降傾向が見込めること
- ② 感染状況よりも医療ひっ迫の解消がより重要
- ③ 解除後、変異株の感染力と重症化への影響及びリバウンドの可能性を考慮し、段階的に対策を緩和
- ④ 段階的緩和において、対象都府県の一部地域へのまん延防止等重点措置の適用もあり得る

緊急事態宣言期間中に私たちが気をつけること

目標：できる限り、人との接触を減らす

方法：生活に必要な最低限の外出（結果として人流の減少）

【注意してほしいこと】

- ① これまで感染してこなかったことに基づく油断は禁物
- ② マイクロ飛沫感染を防ぐことが重要
（十分な換気、感染防御効果の高い不織布マスクの着用）
- ③ 飲酒がなくても、食事中も含め、マスクのない会話は控える

【感染リスクの低い行動】

- ① すいた場所での健康維持に必要な運動（ジョギング、テニス等）
- ② 混雑した場所や時間を避けた散歩や買い物